

心ぽかぽか 新春のつどい 「村民ふれあい集会」コロッケものまねショー



特集1

笑顔あつまれ! 村民ふれあい集会

特集2

平成28年10大ニュース

特集3

平成29年 飯舘村成人式



村民ふれあい集会

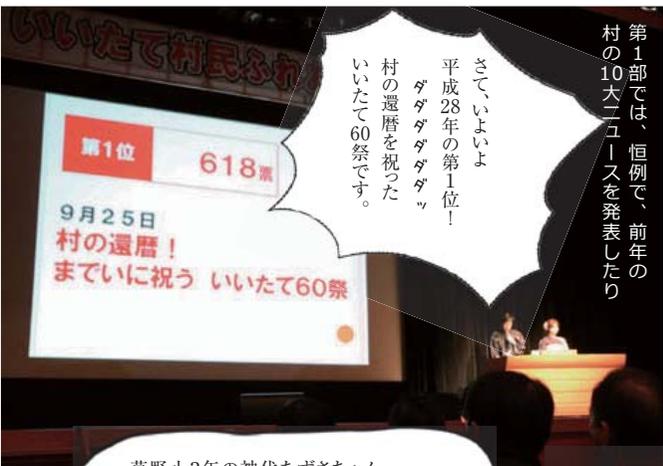
避難する村民の皆さんが一堂に集まり交流できるイベントとして、平成24年から、福島市内で開催してきた「村民ふれあい集会」。厳しい避難生活を送る皆さんに笑顔になってもらいたくて、毎年の実行委員やスタッフが、腕まくりをして取り組んできました。

避難前は、「新春村民のつどい」で披露していた村の10大ニュースも、この集会の中で発表を続けてきました。また、お昼をはさんで午後に行われるステージには、毎年、多彩なゲストが登場。笑いあり、涙ありの感動を、皆で分かち合いました。そして、お楽しみの大抽選会も…。

この春に、19行政区の避難指示が解除される村。6年連続で開いてきたこのイベントも、来年は、新たな形で実施することが予想されます。そこで、今回は、ふれあい集会のようすを、参加して下さった方には楽しく振り返ってもらえるよう、参加できなかった方には雰囲気だけでも味わってもらえるよう、お伝えしたいと思います。



雪の降る中到着するバス。今年も除雪や誘導、会場準備や撤収に、東京電力から約20人の社員の協力をいただきました



さて、いよいよ平成28年の第1位！
ダダダダダダッ
村の還暦を祝った
いいたて60祭です。

第1部では、恒例で、前年の村の10大ニュースを発表しました

年が明けて間もない1月15日：パルセいざか(福島市飯坂町)で「いいたて村民ふれあい集会」が今年もにぎやかに開催されました。避難の翌年から、6度目の開催です。雪がしんしんと降りしきる中、約700人が続々と来場しました。



大越憲一 実行委員長

今年も避難指示が解除され多くの地域で帰村ができるようになります。いよいよですね。今日は寒い中お集まりいただきありがとうございます。一日を共に楽しみましょう。



草野小3年の神代あずさちゃん。小学生相撲の県代表なんです。

がんばっている小学生を紹介したり

闘うのが楽しいです

これからもがんばってね

特集1「笑顔あつまれ! 村民ふれあい集会」 P3

特集2
平成28年村の10大ニュース P6

HOPES 期待の若手
作って食べよう!
こころのぽけっと P17

復興を歩む vol.22 P8

いいたて便り
村民有志の第一原発視察 ほか P18

特集3
平成29年飯館村成人式 P12

つながるアルバム P20

村から課から係から

教育のページ
読書メッセージコンテスト ほか P10

皆さんの声をお聞かせください P22

報告のページ
きこり送迎バスリニューアル ほか P11

いいたて歳時記
ひとつのごき
編集後記 P23

報告のページ
入札結果 P16

仲間とともに
相馬農業高校飯館校演劇部 P24



2

月号の
目次

大募集します!

教えてください あなたの「大切なもの」

飯館村の皆さんが、震災後の避難生活の中で見つけた「大切なもの」(ものと言っても人や動物でもOK!)を、1枚の写真と短めのコメントで、教えてください。広報いいたて4月号の紙上で紹介させていただく他(応募多数の場合選考あり)、優秀作品の表彰も行ないます。

たとえば、こんな感じで↓

詳しい応募方法は、P11及び同封のチラシでご確認ください!



大切だ!
生まれてきてくれて、ありがとう。家族みんなが君の誕生を待っていたんだ。
リノの父 42歳



これからもよろしく
スジコさん、一緒に村に帰ろうね。のびのび遊べる良いところです。これからもものんびり仲良くやっていこう。 たらこ 72歳



咲いてるよ〜
母が持たせてくれた粘土細工の水仙です。笑顔でいこう! っていう気持ちでくれる。 Ikumi 20歳

總やかでありたいな、と思うんです。朝起きた時に、皆さんも笑ってみませんか。ほんの少しでいいから。そして、たくさん頑張っている皆さんだから、自分にも声をかけてください。ね。「頑張ってきたね」「ありがとね」って。ゆっくりゆっくりやっつけていきましょう。家庭のため、地域のため、大切な人のため、喜んでもらえること、助けになることをつづつでも、ね。



そして、心に染みるお話も。お人柄が伝わります。

コロッケさんのショーがスタート！素晴らしい歌と、見事なものまね、ひっくり返りそうになる爆笑ネタで、観客は、感動したり大笑いしたり涙を流したりと大忙し！



極久里珈琲の薫りに誘われて…至福の一杯を会場で味わいます



お昼休みはロビーや子ども再会広場が大にぎわい

第1部の司会はさあやかなこの2人！



小宮行政区出身・税務係の大谷暁永あきひさです。話そうと考えていたことが緊張でどこかに飛んでいきました！

どきどき…しますよね…

二枚橋・須賀行政区出身の佐藤恵です。やまゆり保育所に勤務しています。温かなご協力ありがとうございます！

セガサミー、富士ゼロックス、CCC、ピースプロジェクトのご協力にも支えられ



たくさんのふれあいがありました来てくださって、ありがとう

一緒に写真を撮ってもらったの

久しぶりに会えたね！



これが飯館のまつりだよ！

こんなに声を出して笑ったのは久しぶりだよ。私も朝の笑顔を手掛けてみるね。

さすがだね、コロッケさん。長生さしたかがあるよ。飯館を思いやる話もしてらつてうれしかった。

福島市民です。ホロリとして目一杯笑ってすごく良かった。誘ってくれてありがとう。

1等の旅行券が当たってびっくり！仲良く旅行に行かせてもらいますね～。



杉岡茂さん・悦子さん夫妻 (小宮)

当選おめでとう！今日は誰と来たのかな～。



あったかい言葉がけと素敵笑顔で盛り上げるラジオ福島・菅原美智子アウンサー！

いいたて村民ふれあい集会

フィナーレは大抽選会！高崎市・鹿沼市・茂木町の皆様、また村の団体・企業の皆様、ご協賛をありがとうございました。

当たりましたね！おめでとうございます！



昼食をはさんで再開した第2部はお待ちかねのコロッケものまねショーと大抽選会！皆で盛り上がりましょう！



また来年！きっと笑顔で会いましょう！

平成28年 飯館村民が選んだ 村の10大ニュース!

村で起こった1年間の出来事を、村民の投票でランキングする「村の10大ニュース」。今年で29回目を迎えた恒例のイベントに、今年もたくさんの投票をいただきました。総投票数1,168通で選ばれた平成28年の10大ニュースを発表します。

第1位 618票 村の還暦！ままでに祝う いいたて60祭 9/25



最大8問正解者の中から中島一美さん(比叡)が金賞をゲット。賞品は旅行券5万円分です

交流センター「ふれ愛館」で、村制施行60周年記念事業「いいたて60祭」を開催しました。飯館村が誕生したのは、昭和31年9月30日。60歳となった村の還暦のお祝いです。式では、「10年後への手紙」の発送式が行われた他、中学生が村を想い作詞した「ふるさと4番」も披露されました。

第2位 606票 交流センター「ふれ愛館」の完成 8/13



新しい公民館、交流センター「ふれ愛館」が完成しました。木のぬくもりを活かした館内の1階には、村民が再び集うイメージを天井のアーチにデザインしたホールや、ガラス張りの「キッチンスタジオ」、各種会議等に利用できる研修室などがあり、2階には「絵本のかくれ家」があります。

第3位 563票 12年ぶりの選挙戦 飯館村長選挙 10/16



任期満了に伴う飯館村長選挙が行われ、菅野典雄氏が6期目の当選を果たしました。投票日には、村役場本庁と飯野支所を有権者が次々に訪れ一票を投じました。また、開票作業は地域活性化センター「いちばん館」で行われ、菅野氏の当選が確定しました。投票率は70.84%でした。

第4位 545票 避難指示解除時期と長期宿泊実施の決定 6/15



避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示解除時期と、長期宿泊の実施が、内閣府原子力災害現地対策本部から伝達されました。国は、村の要望通り、避難指示解除時期を平成29年3月31日と正式に決定。長期宿泊は7月1日から実施され、両区域の宿泊が可能となりました。

第5位 413票 いいたてクリニックの村内再開 9/1
 震災後、村民の避難が始まってからも診療を続け、村役場の機能移転を見届け診療を休止した「いいたてクリニック」。避難指示解除を前に、5年2か月ぶりに再開しました。



第6位 390票 村役場飯野出張所の閉所 6/22
 7月1日から役場機能の大半が本庁舎に戻るのを前に、飯野出張所の閉所式を行ないました。式では、出張所での5年間に振り返り、福島市と地域の皆さんに感謝を伝えました。



第7位 382票 東京都知事が村内を視察 11/2
 小池百合子東京都知事が、村内の復興状況を視察しました。交流センター「ふれ愛館」では、村産イチゴを使った紅茶「いいたて ままでに いちご」を味わっていただきました。



第8位 358票 飯館中ふるさと教育の表彰 9/30
 ふらさと学習の実践が評価され、飯館中学校が、優れた教育活動を行う学校・団体に贈られる「博報賞」を受賞。さらに受賞団体から選ばれ文部科学大臣賞も受賞しました。



第9位 353票 八木沢トンネル 貫通式 3/20
 村と南相馬市をつなぐ県道原町川俣線の八木沢トンネル(延長2,345メートル)。起工式から約2年を経て無事に貫通し、現地で貫通式が行われました。



第10位 352票 いいたて村文化祭の村内開催 10/29・30
 6年ぶりの村内開催。交流センター「ふれ愛館」の館内に団体・個人の作品約800点が展示され、ホールのステージでは民俗芸能や民謡・舞踊などの発表が続きました。



平成19年 第20回の第1位 **もりの駅まごころオープン!**
 村内産農産物や米粉パンなどを販売



昭和63年 記念すべき初回の第1位 **草野・飯館中学校が1つに 飯館中学校の開校**



震災以降は毎年のように避難生活と復興事業に関連するできごとが並んだ村の10大ニュース。次回の第30回には、さらに力強い復興のニュースと、明るいできごとが、たくさんランクインしますように!

来年度の10大ニュース! 過去にはこんな第1位が...

松川雇用促進住宅の自治会が、3月末をもって解散します。1月21日に、東山温泉（会津若松市）の御宿東鳳で、新年会を兼ねたお別れ会を開き、会員ら31人が、これまでのこと、これからのことを語り合いました。

同自治会は、約1年前から解散を決めていました。菅野敬自治会長（関根・松塚）は、「いつまでも避難者ではいけない。帰りたい、帰ろうという高齢者の気持ちを大事にした。入居戸数も減少する中、時期を見て解散すべきとの思いもあった。心の準備に期間が必要だと考えてのこと」と、お別れ会を前に、これまで自治会に支援を寄せてくださった県内外の個人・団体に礼状を送り、解散を伝えました。便りを受けて、県外からお別れ会に駆けつけた人もありました。

お別れ会の会食の席には、菅野村長も招かれ、「人生を自分たちの力で切り拓いていこうという解散。先陣を切っていたいただいた」とあいさつし、住民の決断に思いを寄せました。

参加者は異口同音に「家族・親戚以上の日々を過ごしてきた」と語りました。常に声を掛け合い、手仕事や体操に励み、近年は研修旅行の折に、県外の支援者を訪ね、皆で感謝を伝えました。「帰村してもこの絆は絶やさな。また会える」「私は村内の復興住宅ができるまで残るけど、先に帰る人の所に遊びに行く。この絆が、今後も互いを支えていきます。

早期に帰村する人からは、村でも体操教室を続けたいなど要望も聞かれました。村は、自治会懇談会などで、そうした声を広く聞き取り、次年度からの施策に活かしていきます。避難先の自治会は、現在、仮設住宅・公的宿舍等に12、借り上げ住宅の分部別に6あり、自治会を解散するのは松川雇用促進住宅が初めてです。避難から6年。「次の歩を踏み出すには、もう一度避難をする位の大変さがある」とたとえられます。村は、互いの歩み方を受け入れ、皆がゆるやかに前進を続けられるよう、「心のシェア（分かち合い）」を大切に復興を進めていきたいと考えています。



お別れ会の最後に、自治会員の武田正雄さん（草野）が作詞した「飯館の春」を歌いました。お別れ会の運営に協力するため同行していた東京電力福島復興本社（復興推進室飯館村グループ）の4人がマイクやカラオケをさっと用意します。「（支援）活動を始めた当初から、我々の思いをくみ、受け入れていただいた。こうした機会にも声を掛けていただき、心からありがたい。自治会の姿勢に感謝の言葉を繰り返しました。「あの飯館に 帰りたい 帰れますー」力強い歌声が一つに響き、ふるさとへの思いがふれました。



▲皆様のご利用をお待ちしています

きこりバスがお目見え

昨年3月から一部再開している宿泊体験きこりに鮮やかな緑色が目印の新型バスが入りました。車体の側面には、「きこり」の文字やあいの沢などがデザインされています。このバスは、仮設住宅等から無料送迎を行っています。どうぞ、ご利用ください。

きこり利用案内

利用時間 午前10時～午後4時
定休日 毎週火曜日

※当面の間、村民のみ利用可。
※入浴・岩盤浴・集会施設が無料でご利用いただけます。
※宿泊は出来ません。

避難生活で見つけた「大切なもの」写真募集

村民の皆さんが震災後の避難生活の中で見つけた「大切なもの」の写真を募集します。優秀な作品を広い範囲で4月号で発表し、「大切なもの」に対する想いの「シェア・共有」を行い、これまでの避難生活を見つめ直し、復興への想いを高めることをねらいとします。この募集は、技術や芸術性を競うものではありません。村民の皆さんの「大切なもの」を教えてくださいたくための企画です。ぜひ気軽にご応募ください。スマートフォン等で撮影した写真もOKです。

- 1 募集期間** 平成29年2月3日(金)から平成29年3月3日(金)まで
- 2 募集テーマ** 避難生活の中で見つけた「大切なもの」の写真。例) 家族・友人・ペット・モノ等
- 3 応募資格**
 - (1) 平成23年3月11日時点で飯館村に住民票があった方。
 - (2) 応募作品は、応募者本人が著作権を持ち、かつ、未発表または発表予定のない作品であること。
- 4 応募方法** ◎1人何点でも応募できます。
【プリント作品】村役場総務課へL版または2L版サイズのプリント写真を郵送または持参ください。郵送・持参先 〒960-1892 福島県相馬郡飯館村伊丹沢字伊丹沢 580 番地 1 飯館村役場総務課企画係
◎作品1点につき1枚の応募票(広報いいさて2月号同封・村ホームページからダウンロード可能)を必ず添付してください。
【デジタル作品】メールに添付し、右のアドレスへ送付ください。iitateweb@vill.iitate.fukushima.jp
◎画像はJPEGで、データ容量は5MB以内。◎作品1点につき1通のメールで応募。それぞれに
●タイトル●コメント●氏名(ペンネーム可)●年齢 ●電話番号(連絡先)を明記してください。
- 5 審査及び発表**
審査…平成29年3月中旬 発表…広報いいさて4月号の紙面、村ホームページなどで発表。
※入賞者には直接連絡します。各媒体で発表する場合もあり。※電話問い合わせにはお答えできません。
- 6 賞** 最優秀賞…1点 優秀賞…2点 ※総額2万円程度の賞品
- 7 留意事項**
 - (1) 応募作品の著作権が飯館村に帰属することに同意すること。
 - (2) 飯館村が広報、PRのために応募作品を複製、印刷、展示することなどを許諾するものとします。
 - (3) 応募いただいた作品は、複製、印刷、展示の際に作品の一部を変更させていただく場合があります。
 - (4) 写真の被写体に人物が入る場合、当該人物の肖像権については承諾が得られたものとし、万が一、肖像権や著作権において第三者との紛争が生じた場合は、応募者の責任をもって解決すること。
 - (5) 応募に係る一切の費用は、応募者の負担とすること。
 - (6) 応募いただいた作品は返却することができません。ご了承ください。
 - (7) 応募者は応募時点で募集要項に同意したものとみなします。

より詳細な内容は同封チラシをご覧ください。 **問** 総務課企画係 (本庁 ☎0244-42-1613)

読んで欲しい、この1冊。

村教育委員会は、自分の好きな本を推薦する第17回読書メッセージコンテストを開催し、応募総数152通の応募がありました。その中から最優秀賞には、細杉れいみさん(飯館中1年)が書いた「アナタへの手紙」の読書メッセージが選ばれました。

村では、下記の推薦図書をはじめ、移動図書館から号で本の貸し出しを行っていますので、ぜひご利用ください。

家族への愛、感謝と謝罪の気持ち、そして思い出、全部が手紙という形になり、ぎっしりとつまっています。親、これから大人になっていく子どもたち、みんなに読んで欲しい、ぬくもりを感じる温かい本です。(読書メッセージより)



細杉れいみさん
(飯館中1年)

読書メッセージ審査結果

最優秀賞

「アナタへの手紙」
細杉れいみ(飯館中1年)

優秀賞

「三日間の幸福」
佐藤安美(飯館中2年)

「そつだ、葉っぱを売ろう!」
伊藤稜人(相馬飯館校3年)

「小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスピを売られました」
友田美代子(二般)

JPIC賞

「君の臍臓を食べたい」
伏見 渚(飯館中3年)

「恋心」

今野愛梨(飯館中2年)

「永遠に語り継ぎたい3・11の素敵な話」
菅野千那(相馬飯館校2年)

「いのちをいたたく」
菅野彩七(相馬飯館校2年)

「山月記」
泉田達生(一般)



▲選手のパワーと競技のおもしろさを体験



福島県車椅子バスケットボール連盟
村山 涼選手(深谷)

先輩として後輩に伝えたいこと

「今、やるべきことに夢中になってほしい。」「今、興味のあることを全力でやる。」これが大切。いつ、何が起こるか誰にも分からない。だから今を精一杯生きることが大切。そして、友達を大切にしたい。

1月11日、サントリーホールディングスと福島民報社主催の「アスリート・ビジット in 福島」が飯館中学校仮設体育館で開かれ、全校生88人が車椅子バスケットボールを体験しました。

この日は、女子日本代表の北田千尋選手や村出身の村山涼選手ら7人が講師を務めました。生徒は、競技用車椅子の特徴や競技ルールを学び、シュート練習やゲームを楽しみました。

体験した生徒は「手だけでシュートするのが難しい」「車椅子バスケットを応援して良かったです」と感想を話していました。

20歳の門出 ふるさとで 平成29年 飯舘村成人式



▲新成人代表で決意を述べる松下さん

ふるさとで迎える晴れの日

今年の成人式は、震災後初めての村内開催。中学2年生で震災を経験した新成人が、生まれ育った村で20歳の門出を迎えました。式では、新成人を代表して松下圭太さん（草野）が、「これまでたくさんの人に支えられてきました。これから自分の足で、自立して歩んでいきたい」と決意を述べました。

式の終盤には、新成人4人が両親に20年間の感謝を伝えるコーナーや、いたておかあさんクラス、東北各地の応援団OBが集まって出来た青空応援団が登場し、式を盛り上げました。



▲新成人一人ひとりに証書が授与されました

震災後6年ぶり村内で成人式

1月8日、平成29年飯舘村成人式が交流センター「ふれ愛館」で行われ、70人が新たに大人の仲間入りをしました。色鮮やかな振袖や真新しいスーツ、羽織袴に身を包んだ新成人61人が参加。会場では、旧友との再会を喜び合う姿があちこちで見られました。

式では、菅野村長が新成人一人ひとりに成人証書を授与し、「震災を経験し、乗り越えてきた皆さんを誇りに思う。これからの人生を自分自身で切り拓いて欲しい」と祝福と激励の言葉を贈りました。



須藤 ほたるさん (比曾) 岡部 海音さん (臼石) 荒 成美さん (大倉)
石黒 優美佳さん (八木沢・芦原) 佐藤 真由さん (大久保・外内) 菅野 遥さん (関根・松塚)



鎌田 華恋さん (草野) 佐藤 美咲さん (大久保・外内) 高橋 杏奈さん (長泥)

希望を胸に

～ 新成人の門出 ～

20歳の皆さんの、これからの目標や一言メッセージをご紹介します。



菅野 幸汰さん (草野) 杉岡 陸さん (草野) 齋藤 瑞稀さん (前田) 松下 圭太さん (草野)



武藤 琢朗さん (二枚橋・須萱) 長井 敬太さん (伊丹沢) 中島 三平さん (比曾) 高橋 僚太さん (二枚橋・須萱)



菅野 勝也さん (比曾)



佐藤 隼人さん (長泥) 中野 雅文さん (藤平)



佐藤 侑弥さん (前田・八和木)



齋藤 瑠依さん (上飯樋)



和田 千恵美さん (八木沢・芦原) 齋藤 友梨香さん (宮内)



高雅 雅志さん (長泥) 花井 遼さん (宮内)



佐藤 拓巳さん (小宮) 結城 和真さん (伊丹沢)

期待の若手
ホープズ



高橋 俊希さん(節田・八和木)

「村の思い出はたくさんありますが、特にふくしま駅伝に参加してきたことが大切な思い出です。村民の皆さんからの応援はとても力になりました。今年、二十歳を迎えた俊希さんにとって村は大切なふるさとです。「将来は、お世話になった村のために働いていきたいです」。成人式前夜には、親子で久しぶりに語り合い、改めて感謝の気持ちをもつことができました。感謝と決意を胸に、新たな一歩を歩み出しました。

作って食べよう!

「かきのミルクみそ鍋」

牛乳を使った新しい和食「乳和食」簡単で、美味しく、栄養たっぷり!

材料(2人分)

- かき 150g
- 塩 適量
- 焼き豆腐 1/2丁
- 白菜(ひと口大に切る) 3枚
- ねぎ(斜め切り) 1/2本
- しょうが(薄くスライス) 1片
- 春菊(葉を切り、半分の長さにする) 1/2本
- 牛乳 200ml
- みそ(合わせみそ)
- みりん 大さじ1
- みりん 大さじ1

(合わせみそ)

①かきは塩水で振り洗いし、ザルに上げて水気を切り、野菜も下処理しておく。

②焼き豆腐、白菜、ねぎ、しょうが、かきの順に鍋に並べ入れる。

③2に牛乳を注ぎ、ふきこぼれないように注意しながら中火で煮る。煮立ったら春菊を加え、弱火にして蓋をし、5〜6分煮る。

④ふつふつとしてきたら、合わせみそを鍋の縁にぬり、少しずつ煮汁と合わせながらいただく。

●「乳和食」はみそや醤油などの伝統調味料に牛乳を組み合わせて、食材本来の風味や特徴を損なわずに減塩し、美味しく和食を食べる調理法です。

協力：飯館村食を考える会

入札結果をお知らせします

入札日/11月11日(単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
公会計制度対応支援業務	4,082,400	(株)福島県中央計算センター	平成29年3月下旬
飯館村葬儀所整備工事実施設計業務	14,040,000	(有)小坂建築設計工房	平成29年2月中旬
総合行政システム改修業務(地方税系)	1,003,320	(株)福島県中央計算センター	平成29年3月下旬
地方公共団体情報セキュリティ強化対策業務	19,116,000	(株)福島県中央計算センター	平成29年3月下旬
総合型GIS構築業務	9,072,000	(株)福島県中央計算センター	平成29年3月下旬
深谷地区復興村営住宅集会所実施設計業務	7,063,200	(株)邑建築事務所	平成29年3月下旬
花卉栽培・多目的広場防災工事	4,644,000	(有)福相建設	平成29年1月下旬
村内拠点深谷地区排水溝等整備工事(その1)	12,312,000	庄司建設工業(株)	平成29年3月下旬
クリアセンタートラック購入	6,804,000	福島日野自動車(株)相双営業所	平成29年3月下旬
子ども・子育て支援システム改修業務	1,080,000	(株)福島県中央計算センター	平成29年3月下旬
飯館村「いいたてまていないちご」試供品製作用業務	2,376,000	(株)大広 東京本社	平成29年3月中旬
農業用施設等整備工事(飯館村深谷復興拠点内第1号)	72,144,000	大内わら工品(株)	平成29年3月下旬
農業用機械導入事業(飯館村深谷復興拠点内 高所作業車1台及びボット土入れ機一式)	4,302,990	(株)南東北クボタ川俣営業所	平成29年3月中旬
森林病害虫(カシノナガキイムシ)防除業務	2,160,000	飯館村森林組合	平成29年3月下旬
大谷地団地3期既存住宅解体工事	18,252,000	濱田建設工業(株)	平成29年3月中旬
センター地区配水管布設工事積算業務	1,512,000	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成28年11月下旬
農業集落排水施設災害復旧事業実施設計業務(草野第1地区)	3,132,000	福島県土地改良事業団体連合会	平成29年3月下旬
農業集落排水施設災害復旧事業配水管布設替え実施設計業務(草野第1地区)	3,110,400	(株)東亜コンサルタント	平成29年3月下旬
基盤整備促進事業 飯館1期地区測量設計業務	6,696,000	(有)御堂測量設計事務所	平成29年3月中旬
基盤整備促進事業 飯館1期地区工事(大倉宇大倉地内)	3,456,000	後藤建設工業(株)	平成29年3月下旬
第19号 帰還再生生活道路整備工事(伊丹沢字笹ノ沢地内外)	19,440,000	濱田建設工業(株)	平成29年3月下旬
岩部川復旧工事(飯樋字西原 地内)	5,076,000	濱田建設工業(株)	平成29年3月下旬
飯樋町裏線外側溝補修工事(飯樋字町地内外)	3,240,000	(有)福相建設	平成29年3月下旬
スクールバス(マイクロバス)購入	9,990,000	三菱ふそうトラック・バス(株)	平成29年3月下旬
浄化槽汚泥収集運搬処分業務	2,970,000	(株)協和エムザー	平成29年2月下旬
飯館中学校・スポーツ公園整備事業地質調査業務	9,720,000	庄建技術(株)	平成29年2月下旬

入札日/12月12日(単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
センター地区道路境界確認測量業務	15,660,000	国際航業(株)福島営業所	平成29年3月中旬
村内拠点南側エリア測量業務	8,100,000	(有)御堂測量設計事務所	平成29年3月下旬
村内拠点深谷地区排水溝等整備工事(その2)	12,528,000	庄司建設工業(株)	平成29年3月下旬
村内拠点深谷地区排水溝等整備工事(防火水槽)	10,422,000	庄司建設工業(株)	平成29年3月下旬
道の駅「まてい館」電気自動車充電設備整備工事	15,120,000	(有)長谷川電気工事	平成29年3月下旬
村民コミュニティ構築支援ICT事業 アプリ構築業務	21,168,000	(株)福島県中央計算センター	平成29年3月下旬
飯野支所LAN・電源整備業務	1,026,000	(株)福島県中央計算センター	平成29年3月下旬
飯館村移動通信用鉄塔施設NTTドコモ用通信設備工事	11,016,000	日本コムシス(株)	平成29年3月下旬
飯館村移動通信用鉄塔施設KDDI用通信設備工事	12,960,000	サンワコムシスエンジニアリング(株)	平成29年3月下旬

こころの
❤️ぽけっと

神のおもいやり

今もあるかどうかわかりませんが、こんな話を聞いたことがあります。アメリカのニューヨーク州立病院の壁にある患者の詩が残されているという話です。詩の題は「神の思いやり」で次のように書いてあるとか・・・

より偉大なことが出来るようにと
神に健康を求めたのに

よりよき事が出来るようにと病気を与えられた。幸せになるうとして富を求めたのに賢明であるようにと貧困を授かった。世の人の称賛を得ようとして成功を求めたのに得意にならないようにと失敗を授かった。求めた物は一つとして与えてもらえなかったが願いは全て聞き届けられた

今私はあらゆる人の中で最も豊かに祝福されているのだと分かりました・・・(以下略)

以前、「ぽけっと」に松下幸之助さんの話を聞いたことを思い出しました。「成功の秘訣は」の間に「身体が弱かったこと」「学力がなかったこと」「貧乏だったこと」と。

正に同じことをその患者さんは病院に入院したことによって悟ったということでしょう。毎日の生活の中で中々気づかなかったことが大変な目に遭って初めて分かったということが・・・

私たちは6年にもおよぶ避難生活を、「神のおもいやり」と解釈したら、普段では知り得ないことが学べる、出来得ないことが出来る(こころ)になるのですが・・・は、たし、こころ!

平成29年1月18日 飯館村長 菅野 典雄

1/22

居久根伐採で失われた大杉を記念保存 大久保・外内行政区



▲上棟を祝う餅まきが行われた他、手打ちの蕎麦も振る舞われました

大久保・外内行政区の高野家(高野吉邦さん宅)の居久根「清水の大杉と藤」は、村指定文化財として管理保存されてきましたが、原発被災の影響で、平成26年6月にやむなく伐採されました。大杉は推定樹齢400年とも言われ、かつては根元に湧く清水で酒造が行われていました。また、大杉に寄り添う藤の大木も、花の名所とされ訪れる人の目を楽しませてきました。区では、代々守り育ててきたにも関わらず伐採せざるを得なかった居久根の象徴として、大杉の一部を保存しようと話し合い、収容施設の整備に乗り出しました。この日は多くの区民が集まり、その上棟式を行いました。

村の物産と味をPR 「ふくしま大交流フェア」

12/23

ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします

村は、「東京国際フォーラム」(東京都千代田区)で開催された「ふくしま大交流フェア」に出展し、どぶろくや「ごんぼっぱ餅」、カボチャ「いいたて雪っ娘」の加工食品など、村の特産品を紹介しました。このイベントは福島県・東京都の共催で、県内の約100団体が出展。ゆかりの著名人も来場し、福島のグルメ・物産・風景・人などの魅力を広く発信しました。村のブースでは製品の試食・試飲が人気を集め、多くの来場者に村の味をPRすることができました。

味自慢の商品の他、布ワラジや手提げなど村の皆さんが手作りした布製品も並びました▶



1/8 避難から6回目の出初式



▲避難先から参集する出初式も6回目となりました。機敏な動作で整列する一同

飯館村消防団が、飯館中学校の仮設体育館で出初式を行い、本年の消防活動へ決意を新たにしました。式には、避難先から駆け付けた消防団員・女性消防隊と村役場消防隊、合わせて105人が参加。あいさつに立った関係各位が、長期化した避難の中で活動を続ける団員らに感謝を伝え、激励しました。団員らは、引き締まった表情で観閲に臨み、帰村に向けた事業が進む村内の防火・防災に一層努めていくことを確認しました。また、優良消防団員と永年勤続章の表彰も行われました。

福島第一原子力発電所を有志が視察

1/20

「村の大部分で避難指示が解除されることになった私達にとって、福島原発の現状を知るともとても重要」。菅野クニさん(宮内)らのこうした呼びかけで、村民有志が、福島原発を視察しました。今回参加した村民は14人。役場で門馬副村長と懇談し、村職員らも同行してバスで出発。改修する飯館中学校を見学し、その後、東京電力福島第一原子力発電所に向かいました。現地では、事故を起こした原子炉建屋もバスの車窓から見るなどして、廃炉作業の現状を視察しました。



▲現地職員から説明を聞く一行。「現状と合わせて今後の課題も知ることができました」▲

1月の村の動きと主なできごと

- 4日・村役場 仕事始めの式(交流センター「ふれ愛館」)
- 8日・村消防団 出初式(飯館中学校仮設体育館)
- 平成29年飯館村成人式(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・仮設住宅・公的宿舍等管理人会議(飯野支所)
- 11日・第2回までいな絆実行委員会(村役場本庁)
- 12日・「食を考える会」養成講座閉講式(飯野支所)
- 15日・いいたて村民ふれあい集会(福島市・パルセいいざか)
- 18・19日・村議会総務文教常任委員会所管調査(宮城県気仙沼市他)
- 19・20日・村議会産業厚生常任委員会所管調査(千葉県袖ヶ浦市他)
- 22日・北塩原村雪っこ体験事業(裏磐梯スキー場)
- 23日・第1回農業委員会定例会(村役場本庁議場)
- 25日・村議会第1回臨時会(村役場本庁議場)
- 営農再開検討会議(村役場本庁)
- 26日・定例教育委員会(村役場本庁)
- 28日・農業者等の意見交換会(つきたて花工房)
- 29日・文化財防火デー 消防訓練(大雷神社)
- 松川雇用促進住宅飯館自治会懇談会(松川雇用促進住宅集会所)
- 31日・学校運営協議会(飯野支所)
- 松川第二仮設住宅飯館自治会懇談会(松川第二応急仮設住宅集会所)

いいたてネットワーク



ワークショップのようす。今後は「女性」「村内で営農する農業者」などを対象に開かれる予定

「いいたてネットワーク」が、少人数で意見を述べ合うワークショップ「飯館村の未来を考える会」を開いています。サンライフ福島(福島市北矢野目)で開かれた第2回には、避難先で営農する村民4人が参加。農業者の連携や、村内の農地保全について、アイデアを語り合いました。村の農業者としての誇りと故郷への愛着がにじむ発言も相次ぎました。



昨年12月、震災前後のさまざまなデータをグラフ化した「飯館村の未来を考えるためのデータブック」を一般社団法人Bridge for Fukushima (伴場賢一代表理事)と共同で発行しました

同団体では、データブックを無料で配布しています(送料も無料)。また、村出身の方が4~5人集まれば出張ワークショップも行えるそうです。連絡・問い合わせ☎080-5733-7703 (横山代表理事)

いいたてネットワーク
一般社団法人いいたてネットワーク
(横山秀人代表理事/前田・八和木)
は、村民の支援を目的に、意識調査や情報提供等を行っています。昨年未定ワークショップも開催中。活動内容をホームページ上で公開しています。 <http://ititate-network.org/>

1/11

12/26



学童保育

飯館村老人クラブ連合会

学童保育の21人が、村老人クラブ連合会(高橋喬会長/飯樋町)と交流しながら、しめ縄飾りの製作に挑戦しました。この催しは、シニアサポーター事業によるものです。小さな手が縄もじりを始めると、先生役の8人のお年寄り、コツを伝えたり、そっと手を添えたり。子どもたちは、教わりながらいねいに飾りを仕上げ、満足そうに見せ合いました。



完成品を手に記念写真。この事業は、飯樋町老人クラブ会員の皆さんを中心に展開しています



一生懸命つくる子どもたち。自作のしめ縄飾りを持ち帰ります。「早く家族に見せたいな」

伊達東応急仮設住宅

伊達東応急仮設住宅自治会の皆さんが、伊達東地区交流館で新年会を開き、だんごさしや餅つきを行いました。会には、日頃からお世話になっている伊達市社会福祉協議会や伊達警察署、支援くださるNTT労働組合やボランティアの皆さんを招待。あんこ餅やきなこ餅などを皆で味わい、住民が歌や踊りを披露して、手作りの交流を楽しみました。



だんごさしの1本は交流館に飾ってもらいます

1/14

12/27

松川第二応急仮設住宅

富山県から訪れた浄土真宗本願寺派高岡教区の皆さんと、餅つき会で交流しました。震災後6年連続の支援です。「今年も会えた」「ありがたい」と再会を喜ぶ住民も一緒に餅を仕上げました。もち米「新大正もち」を提供する生産農家の杉森修和さんは初回から毎回の来訪。「最高品質の北陸産もち米。美味しく食べてほしい」。つきたてを味わう皆の笑顔も最高でした。



作業もスムーズ。鏡餅に、きなこ・あんこ・こま餅も

村では凍みもちを作ってた。この倍もある白で2升も4升も一人でついたんだよ



菅野百三さん (比叡)

自分自身にとってもいい経験になります

濱野光喜さん (高校1年)



富山で交流した人との再会もありました (中学1年) 濱野慶悟さん

富山県射水市から兄弟で参加。「アツアツのうどんもどうぞ」

お世話になってる警察署の方も杵を握って餅つきに参加。会場も笑顔で声援しました



佐藤忠義自治会長(写真左/前田)と庄司ヨネ子さん(伊丹沢)の名コンビは息もピッタリ

避難生活の中で感じていること、困っていること。除染や賠償、村の事業などについて聞いてみたいこと。ジャンルは問いません。皆さんの声をお聞かせください。



嶋原 清三さん(長泥)

帰れると思って避難したんだから、やっぱりうれしいよね。村では仲間と競い合って花づくりをしてきて、それが楽しかった。仲間がいなくてね…。私は今も月に何度か家に通って周囲の手入れをしている。今はここ(福島)で何とか頑張ってる、最期は村で迎えたいと思っているんだよ。

村の唯一の帰還困難区域である長泥地区では、他の区域で行われている除染や居久根の伐採、昇口舗装や被災家屋等の解体工事が実施できません。また、今年3月末に予定される国による避難指示解除も、長泥地区だけは対象外となっています。

国は8月末に、帰還困難区域の今後について、「区域の見直しは行わず、拠点づくりなどを進めながら、平成33年の避難指示解除を目指す」と方針を示しました。しかし一方、住民の皆さんは、以前から要望してきた宅地周りの除染を、区域内でも行ってほしいと訴え続けています。

村は、住民がつながりを強く保ち、ふるさとを大切に守ってきた長泥行政区の復興について、行政区の意向を踏まえながら、国との協議を根気強く進めていきたいと考えています。

赤石澤 忠則さん(上飯樋)



(限られた予算や人員で) 村内の景観を美しく保つためには、たとえば植樹などをして、維持が難しい場所を森に返していくことも一つの方法では。また、補助事業は、建物を建てた後も、産地形成まで続くことが望ましいと考えます。戻った人が、目的ややりがいを持ってやれば、人口が減少しても村づくりはできると思う。離れた人、残った人が、協力・連携できるような形も大切。

平成26年度より、地区ごとに順次設立が進んでいる農業復興組合が、福島県営農再開支援事業を活用して「農用地保全」等を主体的に実施することで、少しずつ地区の景観が維持されるようになってきています。除染完了後2事業年度程度の保全活動を実施することで、「誰がどの農用地を管理するのか」「管理できない農用地をどうするのか」等の課題整理を各組合が進めています。

村内の景観を保つ最善の方法は、除染した全農地で営農活動を営むことだと考えますが、現状は決して容易な状況ではありませんので、管理できない農用地については対策が必要と考えています。

村では「自分では管理できない農用地」については、まず農業復興組合が管理をし、次のステップとしては「農用地を活用していきたい」と考える個人や集落営農組織等に集約していくことを想定しています。

平成29年4月には主要野菜の出荷制限・摂取制限が解除される見込みですので、山採り以外のほとんどの食用作物(米、そば、大豆、麦、野菜、牧草、牛、豚、鶏等)を村内で作付け・飼養することが可能になりますし、県の緊急時モニタリング検査を受検すれば、それらを人に譲ったり、販売したりすることも可能になります*。*「余っている農用地を使いたい」との声は増えてくるものと考えています。

ご提言の「離れた人、残った人が協力・連携できるような形」は是非実現していきたいと考えていますので、引き続き、ご提言、ご協力をいただければ幸いです。

*農作物・畜産物の種類によって受検時期等が異なりますので、詳しくは復興対策課農政係 ☎0244-42-1621までお問い合わせください。

いいたて 歳時記 その 22

凍み餅づくり

ごんぼっば(オヤマボクチの葉)を入れることから、ごんぼっば餅とも呼ばれる村の凍み餅。

つくられるのは、最も寒さが厳しい寒中です。乾燥させておいたごんぼっばは、6〜7時間かけて煮てから、米粉と混ぜます。かつてはくず米を使ったものですが、今は普通のもち米とうるち米、半々

の米粉を使います。ごんぼっばを混ぜた米粉を、蒸して搗いて、かまぼこ型に成型。2日間ぐらいい置いた後、1cmほどの厚さに切ってヒモで編んで吊るし、冷え込んだ夜の寒気にさらします。一晩か二晩、外で凍らせた後、さらに約2か月間、日陰で干して完成です。

凍み餅は、春から夏にかけての小屋によく食べられました。7〜8時間水に浸して、柔らかくなったたらよく絞り、蒸すか焼かして、砂糖醤油や味噌をからめたり、きなこやあんこを乗せたりして食べました。

うまく乾燥させたものは、2年ぐらいい経っても味が変わらないようで、優れた非常食でもあります。震災直後、家にあった凍み餅を、ご近所で分け合って食べたという人もありました。手から手へ伝えられた村の「凍み文化」は非常に豊かです。凍み餅の他、凍み大根、凍み豆腐を含め、避難

先で作る人もあります。滋味深いそれら凍み食品の復活が、待ちどしいですね。

参考：『飯館村発行「飯館村史 第3巻 民俗」』

梁(はりに)に吊り下がる凍み餅



梁(はりに)に吊り下がる凍み餅

結婚おめでとう



氏名	出身地
高野 聖也	小宮
服部 有伽	福島市

いつまでもお幸せに

おくやみ



氏名	年齢	行政区
小林 文夫	84	上飯樋
大谷 親子	74	大久保・外内
大渡 邊ユキ子	90	上飯樋
庄司 良明	84	関沢
大槻 マサ子	87	白石
阿部 利明	69	深谷
佐藤 義三	84	大久保・外内
五百川 ミチイ	92	伊丹沢
森 國行	89	八木沢・芦原

ご冥福をお祈り申し上げます

(12月15日から1月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

3月で解散する松川雇用促進住宅自治会のお別れ会におじゃましました。皆さんが仲睦まじく支え合ってきたようすを思い出して、私は少し切ない気持ちで会場を訪れました。しかし皆さんが培ってきた絆には、そんな感傷を越えた強さがありました。「この絆を絶やさず」となく、また元気で会おうと佐藤正清さんの発声で乾杯。各人が今後を語り、やりたいことや課題も打ち明け合いました。皆さんの中に「復興」を見ました。まだまだ大変に違いないのだけれど、心に灯る「復興」の明かりを確かに感じたのです。支援してくれた皆さんにお礼を言って解散する。飯館村民としてそれだけ皆さんとしたいと菅野敬会長。最後の総会では同窓会の日程を相談するそうです。(星)

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
鈴木 愛澄華ちゃん	大智・春華	深谷
高野 柊哉くん	順吾・智江	飯樋町

すくすくと元気に育ってね



ひとのうごき

(平成28年12月31日現在)

人口	今月(前月比)
男	3027人(±0)
女	3100人(-1)
合計	6127人(-1)
世帯数	1832戸(-1)

12月1日〜31日までの

人口動態	転入	8人
	転出	8人
	出生	4人
	死亡	5人
	(住民基本台帳人口)	

仲間とともに
その46
相馬農業高校
飯館校演劇部



上演時の手応えはあったものの最優秀賞をいただいた時は一同で「ええっ」と驚きました。今は素直に喜んでいます！飯館校演劇部

1月10日、冬休み中の稽古日におじゃましました。コンクールの賞状などを手に。左端が顧問の西田先生

活動データ

- 創部3年目ながら東北ブロックの高校演劇コンクールに2年連続で出場。今年度は同大会で最優秀賞を獲得し、8月、全国大会に出場します。
- 部員は5人。顧問の西田直人先生が、矢野青史というペンネームで脚本を手掛けます。

昨年末いわき市で開催された東北ブロックの高校演劇コンクールで、創作劇を発表した飯館校演劇部。学校の「帰村」と向き合う生徒の心の動きを、舞台上に瑞々しく描き出しました。部長の菅野千那さん(2年)は、皆のやりきった表情を見て「積み重ねてきたものが出せた」と手応えを感じたそう。音響を担当する伊藤稜人さん(3年)も「感動しながら作業した」と振り返る出来映えで、最高賞を受賞しました。また、チームワークの大切さなど、活動から学ぶことも多いとか。昨春入部した後藤滝翔さん(2年)は「人前でも臆せず話せるようになりました」と笑顔を見せました。

会場を満たす 共感と感動

1/22

相馬飯館校演劇部
自主公演@こむこむ

—サテライト仮想劇—いつか、その日に、



飯館校が村内に戻る時を想像する主人公ハルカと友人サトルを中心に、原発被災地の高校生が、自分ではどうしようもない現実と向き合い、乗り越えようとする姿を演じました。上演後に舞台上であいさつする部員達。感動の余韻が残る会場から惜しめない拍手が送られました。

相馬農業高校飯館校の演劇部が、こむこむ(福島市)で、あさか開成高校(郡山市)と合同の自主公演を行い、東北ブロック高校演劇コンクールで最優秀賞・創作脚本賞を受賞した「サテライト仮想劇—いつか、その日に、」を上演

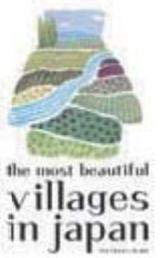
劇の舞台でもある飯館校は、全村避難により、平成23年度は県教育センター(福島市)で、翌24年度からは県立福島明成高校敷地内の仮設校舎で授業を行っており、現在は全校生徒の約8割が村外出身です。「それぞれの立場に自分を置き換えて観ていただけたら。今の私たちだからこそできる劇だと思っています」と部長の菅野千那さん(2年)。共に心の成長を遂げていく登場人物の姿は、劇であることを忘れるほどリアルに胸に迫ります。

上演後、木幡ナカ子さん(伊丹沢)は「涙が流れた。自分もここで折れては駄目だと思った。皆に観せたい」と。また、「子ども達の気持ちを考えさせられた」「素晴らしいの一言。全国大会も頑張っほしい」「深い演技。飯館を思いながら観た」など、多くの人が目をうるませて共感を語っていました。

表紙

村民ふれあい集会

ゲストのコロッケさんが爆笑のものまねと心温まるトークで客席を魅了しました。P3で特集。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。